



第224号

社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085
神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255
FAX 078-271-0256
E-mail hamt@portnet.ne.jp
臨床検査情報センター "Assay"
URL <http://www.hamt.or.jp>

第48回近畿医学検査学会の開催にあたって

第48回近畿医学検査学会が、神戸ポートアイランドにあります学校法人兵庫医科大学 兵庫医療大学にて「はばたこう未来へー flap to the future ー」をメインテーマとして、第51回日本臨床検査医学会近畿支部総会、第28回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会とともに同時開催される運びとなりました。兵臨技の執行役員、会員皆様方のご協力を得て、準備を進めてきまして、兵庫県、神戸市及び兵庫県医師会のご後援を賜り、更に関係各位のご支援とご協力を得て開催されます。

今学会の目玉としては、医療情報提供を目的とした市民参加型学会を目指しています。その内容は、国民に対して医療の一翼を担っている臨床検査の現状を紹介するビデオやパネル展示、「公開講座」として、「E型肝炎についてー 兵庫山中猪鹿物語 ー」、「医療産業都市構想を含めた再生医療について」の講演を企画し、更に事務、医療従事者に対しての「公開講座」として「医療マネジメント（経営管理）における医療従事者の役割」についても講演いただきます。また、この企画については新聞を利用した広告宣伝による参加募集を行い、その講演内容を新聞1面に記載して、技師会の知名度の向上と臨床検査の仕事への関心を高めていただけるようにしております。

一方、一般演題ですが、多くの会員から多数の演題をエントリーしていただきありがとうございました。演題募集を始めてもなかなか応募数が増えず、6月末日で40演題と、この状態では学会がどうなるのかと不安が募るばかりでした。エントリー最終日には、目標数に達し企画者全員が胸を撫で下ろすことができました。

このたびの演題企画として、機器・試薬プレゼンテーションを一般演題に挟み込み、業者からの情報提供と技師との意見交換ができる場面を設定しました。更に、若い技師たちが、これから検査技師を目指す目標設定、やりがいを求めるための「futureシンポジウム」を企画し、これからの臨床検査を担う人達への提言になればと思っています。

また、学会並行企画として「チーム医療」関連スタディー、JICA企画「平成20年度仏語圏アフリカ臨床検査技術コース研修員臨床検査講座、仏語圏アフリカ医療フォーラム・神戸2008」を行います。

社団法人としての技師会は、公益活動性をもたせた事業の企画、推進する義務もあり、法人制度の見直しに相俟っての行動は不可欠であります。学会が終了すると共にこの法人改革に沿った定款及び諸規定、事業計画、事業予算等に着手しなければなりません。

あと残すところ、1ヶ月余りで学会当日となります。7年前に開催したときのことを思い出しながら準備を進めて行く今、そのときにも、適度の不安と緊張が頭の中を過ぎたことを思い出します。準備段階から学会当日にかけて不安と緊張が、成功したという実感に置き換わる瞬間の達成感を今も大切にしています。その感覚をこれから学会実行委員として携わっていただく方々に味わっていただきたいと思います。学会に参画できるチャンスは近畿学会では7年に一度、全国学会に携わる機会も余りないと思いますので、委員を要請しました節には、快く学会実行委員を受けていただきますようによろしく願います。

学会を成功させ、(社)兵臨技の団結力と素晴らしさをアピールしましょう！

JICA 啓発研修

仏語圏アフリカ諸国（ベナン・ギニア・マリ・ニジェール・セネガル・マダガスカル）の臨床検査技師の方々が、茨木市の独立行政法人国際協力機構（JICA）大阪国際センターに、8月から来られています。現在、世界では年間約5,600万人もの人々が亡くなっています。そのうち約1,470万人が感染症で命を落としていることを知っていましたか？研修員の方々の母国は、感染症で亡くなる人々が極めて多い国々です。5歳未満の乳幼児の約3分の2の死因は感染症によるものです。このような現状を無くすために、日本のODA（政府開発援助）予算により、日本の細菌感染症臨床検査技術を取得する目的で来日されています。その技術研修を担当しているのは我々近畿臨床検査技師会の仲間です。

今回、学会にこれらの研修員の皆様をお招きして、JICA平成20年度仏語圏アフリカ臨床検査技術コース研修員臨床検査技術講座（研修の成果発表）と仏語圏アフリカ医療協力フォーラム・神戸2008（国際医療協力に関するフォーラム）を開催することに致しました。10月19日、日曜日M109号室でお待ちしています。ふるってご参加いただき、遠いアフリカの地で働く臨床検査技師の方々と交流してください。研修員の皆様の国々を地図で一度確認してみてください！

■JICA平成20年度仏語圏アフリカ臨床検査技術コース研修員臨床検査技術講座(9:00～11:00)

- | | |
|------------|--|
| 1 尿路感染症検査 | DEMBELE Christione (マリ国研修員) |
| 2 腸管感染症検査 | RAJAONA RILALA Menjanirina (マダガスカル研修員) |
| 3 薬剤感受性検査 | ISSA Kadri (ニジェール研修員) |
| 4 生殖器感染症検査 | HOUNSON Francois Midjonagbe (ベナン研修員) |

■仏語圏アフリカ医療協力フォーラム・神戸2008 (13:00～15:00)

[予定演者]

日原 一智 (独立行政法人国際協力機構大阪国際センター)
立脇 一 (近畿臨床検査技師会国際部海外協力委員会)
SOUMAH Mohamed (ギニア国研修員)
FALL Oumoul Khairy (セネガル国研修員)

(事情により講師・内容等が変わる場合があります)

求人情報

**求人先：総合リハビリテーションセンター
リハビリテーション中央病院**

交通：JR明石駅下車 バス15分

採用条件：臨時職員（アルバイト）

採用人数：1名 年令：不問

予定期間：平成20年9月～21年3月（7ヶ月）

勤務時間：平日 8:45～17:30

勤務内容：中央病院 検査室における臨床検査業務

連絡先：078-927-2727 企画管理課（福田）

求人先：笹生病院

交通：阪神線香櫛園駅下車 徒歩6分

採用条件：正社員

採用人数：1名 年令：不問

勤務時間：平日 8:30～17:15

土曜日 8:30～12:30

夜診、緊急呼出あり

勤務内容：検査全般（生理検査・検体検査）

連絡先：0798-36-8111 検査室（泉倉）

求人先：県立尼崎病院

交通：阪神線大物駅下車 徒歩3分

採用条件：①アルバイト 平成20年7月～21年3月

②産休代替 平成20年9月下旬
～21年11月頃迄

採用人数：2名（衛生検査技師含む） 年令：不問

勤務時間：平日 8:45～17:30

勤務内容：①一般検査 ②生理検査

連絡先：06-6482-1521 内線581（岩崎）

備考：阪神間、大阪の方も可能

求人先：(財)兵庫県予防医学協会

交通：阪神線御影駅下車 徒歩5分

採用条件：アルバイト（臨時職員）

採用人数：2名（細胞検査士含む） 年令：不問

予定期間：平成20年8月～21年3月（8ヶ月）更新

勤務時間：平日 8:30～17:00

勤務内容：①病理組織標本作製（胃バイオプシーのみ）
細胞診検体処理等

②細胞診（婦人科、喀痰）

連絡先：078-856-7217 細胞診検査科（川端）

求人先：兵庫医科大学病院 輸血部

交通：阪神線武庫川駅下車 徒歩5分

採用条件：アルバイト（臨時職員）

採用人数：1名（産休・育休中職員の代替） 年令：不問

予定期間：平成20年8月～21年3月（8ヶ月）

勤務時間：平日 9:15～16:00

勤務内容：大学病院輸血部における臨床検査業務

連絡先：0798-45-6349（国分寺）

日臨技報告

<第4回理事会（7月12日）>

●監理

- ①厚生労働省から、民による公益の増進を目指して、と行政と密接な関係にある公益法人の支出の無駄の集中点検について、を受領した。

●事務局

- ①会員数は47,587名（6月末現在）である。新入会員は2,307名。未入金者は全国で2,671名、近畿地区は429名（福井7、滋賀19、京都86、大阪186、兵庫102、奈良20、和歌山9）。無料職業紹介は6月求職者21名・求人36件あり、決定は1件。
②リンクス・臨床検査技師賠償責任保険加入状況は、2,820名・14,061名である。
③岩手・宮城内陸地震への義捐金は7月7日現在7府県から届いている。7月一杯受け付けているので協力要請があった。

●財政経理部

- ①7月5日までの主な支出は一般会計190万円、精度管理会計2,179万円であった。

●学会・出版部

- ①「新輸血検査の実際」の内容に対する疑義・質問が多いので、正誤表を早急に作成し、公表することにした。

●学術事業部

- ①今年度の特別研究に3題、助成研究に2題を選定した。

<平成20年度都道府県会長連絡会議（7月12日）>

1. 今年度事業進捗状況について

会長挨拶（第57回学会、日韓交流30周年を経て今後も若い世代が交流を続けて欲しい、来年アジア学会を開催するなど）に続いて、各常務理事から報告があった。

精度保障部からは、サーベイの進捗状況とデータ標準化事業の今年度の取り組みなど、図書出版部からは、新輸血検査の疑義について、正誤表を配布する。学術事業部からは部門研修会の開催手順を明確化する。eラーニングを試行するので各府県から2,3名参加して欲しい。国際部からは、AAMLS学会（2009年）、8月のIFBLSには日本から20名程度参加する。JICA研修についての報告があった。情報調査部からは携帯端末による研修会案内、動画配信などの報告があった。

2. 新公益社団法人認可に向けての取り組みについて

定款諸規定検討委員会から、支部に関する検討内容を提示し、質疑を受けることで共通理解を深めた。

- ・日臨技と都道府県技師会の連携強化
- ・日臨技の公益事業の推進
- ・学術研修会等の開催の利便性を高め、地域格差をなくす
- ・会計、税制処理の統一化

上記4点を目標に、組織運営、学術学会、公益事業、経費、業務権限、就労事業など検討してきたことを提示した。

3. その他

当日の質問事項を列記します。

- ・永年表彰について、会費納入が3月31日までになされていないが、（納入が確実な）会員の対応について
- ・支部組織について、現在の形のまま移行するのは二重構造になるのでは？
- ・北海道は、一地区だけなので支部制になじまない。
- ・現在の地区助成金や事務取り扱い協力金はどうか？
- ・地区研修会は存続させるのか？
- ・支部長の人選方法は？
- ・公益社団法人取得のスケジュールは？
- ・都道府県も公益社団を取得せよと言うのか？
- ・研修会開催予算で賛助からの協賛金はどうか？
- ・支部役員は誰が決めるのか？

各部署報告

組 織

平成20年度 阪神・神戸地区施設責任者・連絡者会議、セミナー、交流会報告

組織部神戸地区理事 谷口 大輔（神戸労災病院）

7月5日(土)、兵庫県臨床検査技師会研修センターにて、37名の参加のもと「第1回阪神・神戸地区施設責任者連絡者会議」が開催された。

冒頭、富永会長より公益法人認定化に向け「職能・公益・学術・管理」を柱に理事役員を中心として会員と共に一丸となって取り組んでいく必要があるとの説明があった。

さらに公益性を担保する事業として、一般市民・県民を対象とした臨床検査に関わる公開講座開催等を含めた事業展開を行う考えもあるとした。

また10月18日、19日に兵庫医療大学のキャンパス（ポートアイランド）で開催される第48回近畿医学検査学会では新たな取り組みを織り交ぜた企画も用意されており多数の会員の参加を呼びかけられた。

施設責任者・連絡者会議では「公益法人取得に向けた兵臨技の具体的活動」、「臨床検査科の標榜」、「自立した検査室と今後の検査技師の在り方」、等を中心に施設責任者と執行部の間で活発な意見交換がされた。さらに今後の課題として臨床検査技師による「医療支援」とし、アンケートも含め会員に広く意見を求めていく予定があることを表明された。

組織部主催検査室運営セミナーにおいては50名の参加のもと兵庫医大の藤井誠治先生による「ランチラボから自主的運営」の講演があり、意義のある意見交換が交わされた。17時からは新人歓迎ビアパーティーが開催され新人会員、一般会員、賛助会員78名が参加した。他施設、賛助会員の方との交流、ゲームなど有意義な時間を過ごせたと思います。これを機に他施設のつながりが出来ればと思っています。



● 検査室運営セミナーに参加して

神戸常盤大学 医療検査学科 酒井 健雄

兵庫医科大学病院臨床検査部は一旦検体検査部門がランチ化されましたが、ここ2年ほどかけて自主運営に戻すべく努力され、ようやく自主運営に至りました。ランチ化は期待したほどの経済効果は生まず、逆に人材の流出、学会発表、論文数の減少というマイナス面があったが、自主運営に戻すことで発表や論文数も徐々に戻りつつあり、研究、教育、診療の連携強化が期待されている。

● 新人歓迎交流会に参加して

住吉川病院臨床検査部 谷口 香緒里

新人歓迎交流会に参加させていただきました。

こういった集まりに参加させていただくのは初めてでしたので若干緊張しておりましたが、途中で新入会員の自己紹介とスピーチや、参加技師会員の皆様のご紹介、参加業者の皆様のご紹介、景品つきのゲームなどがあり、終始和やかな雰囲気が進みました。他施設の技師の方々とは普段、交流させていただくことが少ないので、貴重な時間を過ごす事ができました。また、普段お世話になっている各業者の方々とも交流することができ、とても楽しい交流会でした。

交流会に参加して感じたのは、技師会員の皆様方のつながりがとても深いものである、という事です。同じ県の技師会員として、時には意見を言い合い様々な問題を解決してきたからこそ今の技師会があるということを感じました。また今年より技師会の新入会員となったことで、今よりも一層精進し先輩方のような検査技師になれるように努力したいと思います。

勉強不足で、まだまだ技師としては一人前には程遠いですが、勉強会など積極的に参加し、知識を増やしていきたいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



兵庫医科大学病院 臨床検査部 村上 泰章

新人歓迎交流会に参加させて頂きました。新人会員ということもあり初めての技師会主催のイベントに参加でした。多くの会員のみなさまと賛助会員である各企業の方が参加しておられ、兵庫県の臨床検査技師会を盛り上げて行こうという雰囲気になりあふれていました。

同席した賛助会員の人からは、自社製品の特徴やこれからのような製品が必要になり求められているかなどを聞くことが出来、これからの医療がどうあるべきかという方向に

進むのかなど非常に興味深いお話をしていただき、貴重な時間を過ごさせて頂きました。

また会員のみなさまからは、各病院の違いなどこれからの臨床検査技師のあり方について様々な意見を聞かせて頂きました。

また随所でゲーム大会なども行われ、終始和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごさせて頂きました。なかなか他施設の方々とお話する機会がない中でこのような会を開くことは交流を深めて様々な意見交換のできる場として非常に良いものだと感じました。同じ検査一つをとっていても各施設によって違った創意工夫をされており、一つ一つの意見が参考になり見習わなければいけないと感じました。

このような会や勉強会などを含めてさらに交流を深めていき、兵庫県の臨床検査技師会のみならず全国の臨床検査技師会の発展と医療の発展に繋がることができれば良いと思います。

(医)川崎病院 臨床検査科 小原 有加里

新人歓迎交流会に参加させて頂き、ありがとうございました。この交流会では、私が思っていた以上に、技師会の先輩方やメーカーの方々が大勢集まっておられました。そのような中で、はじめは少し不安でしたが、色々な方々が気軽に話しかけてくださり、おいしい料理やお酒も運ばれてきて、とても楽しい時間を過ごすことができました。じゃんけんゲームは気合を入れて臨みましたが、すぐに負けてしまい残念でした。

交流会に参加して、他の施設でも、たくさんの新人臨床検査技師のみなさんが頑張っているんだなあ、と実感することができ、よい刺激を受けました。まだまだ慣れない仕事を覚えることで精一杯の毎日ですが、先輩方からたくさんのお話を吸収し、成長していきたいです。

市立芦屋病院 臨床検査科 嵐 早織

今回この新人歓迎交流会という大々的な会にお誘い頂いたときには、知り合いもおらず、参加しようか悩みましたが、参加してみると、大学在学中にお世話になった先生ともお会いでき、近況報告などもできました。

そして、席が隣になった方とも、仕事面や、プライベートな話しもでき、楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、この会を開いて下さった兵臨技の方々、本当にこんな素敵な会を開いて下さり、ありがとうございました。

先輩方を見習い、これから頑張りたいと思います。

広 報

検査技師が視力測定や筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の吸痰を

● 民主、業務範囲拡大で議論開始

民主党厚生労働部門会議の医療提供体制・医療の質分科会は7月10日に開かれ、臨床検査技師に視力測定の検眼資格を与えるなど、医師を除く医療従事者の業務範囲の拡大について議論を始めた。議論のたたき台では、病院勤務医の過重労働対策や規制緩和の観点から業務範囲を広げることを提案している。分科会では今後、各種医療関係団体のヒアリングを行った上で取りまとめを行い、臨時国会への法案提出や次期総選挙のマニフェストづくりにつなげたいとしている。分科会では医療従事者に業務範囲の拡大を求める理由として、医師の負担軽減のほか、2006年度から薬学部が6年制となり薬剤師が高度な臨床経験を積めるようになったことを挙げた。このほかの職種も業務の高度化が見られるとしている。

(THE MEDICAL&TEST JOURNAL 2008年7月21日 月曜日)